

AIは道具である

コンピュータは箱の中で成長する。
成長させるのは人以外にはない。
人は空の下で育つ。人は人の交わりで育つ。
哲学者も理論家も、空の下で思い悩み、思索する。

人は世界の小さな断片だけで、世界を考える。
人は僅かな人を知るだけで、すべての人を想う。
コンピュータは持てるデータの枠で処理をする。
データの組み合わせで、答えが拡散する。

AIは道具である。

- ・人が活動し、洗練された知識と技能を体系化した後に、整理された形にして機械化される。
- ・AI化された機能は人が行うよりも早く、正確に、飽きることなく実行する。
- ・人が行ってきた事柄をAIが実施して、人は、AIの結果を使ってさらに進めた業務を行う。創造、開発が行われる。

全体をとらえる

動植物、鉱物、等

宇宙、海、陸、水、
気候、地球活動、等

自然物

自然環境

全体

人の社会

世界、国、政治、経済、産業、科学、等

- ◆AIを検討するとき、目的を明確にして、取り込むデータの範囲と種類を検討する。
- ・データの不足、データの過多が及ぼす影響または効果を検討する。
- ・コンピュータが処理できる範囲、処理機能を認識する。

AI限界ライン: ラインは進化していく。

業務の枠組みが存在する。

産業でとらえるAI



現在のSFがとらえるAI

コンピュータが人に変わって全てを行う。

AIが人の仕事を取るのではなく、人の能力を高め、
人の仕事を増やしていく。

類似する創造プロセスが形式化
されてAIに置き換えられる。

人が行う創造